



今回特別に結婚雑誌にも載っていない御岳山の結婚式のアレコレを紹介したいと思います。御岳山の結婚式は、一味違います。結婚式の準備にあたり、日取りや神社での式、招待者への案内など5人組と呼ばれる人々が新郎新婦と相談して式を取りまとめてくれます。

5人組（組合とも呼ばれています）とは、隣、近所の4～5の家で組織された組合のことで、この風習が未だに残っています。したがって、式は5人組を中心に、その家と付き合いのある家の協力によって準備が行われるのです。

男衆は、神社での祭りの準備や手配をします。皆、神社のことならお手の物。

なんと言っても御岳山は御師の集落なので神職がたくさんいるからです。祭員や、伶人（龍笛、笙、箏、筆樂）の、着付けや準備もみんなですべて分擔します。

女衆は自宅で行われる披露宴の準備をします。大勢の方々をお呼びするので、食器が足りない時は、近隣の家に貸してもらい、料理もみんなですべて協力して手際よく作ります。そうそう、宿坊の女将がほとんどなので、料理がこれまた絶品なのです。

今回は、結婚式の準備の話までとしたいと思います。続きは次号で。（解説員 馬場）



御岳山でちょい

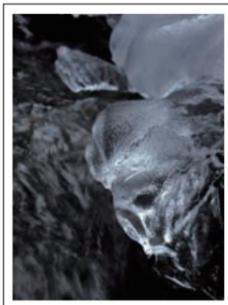


自然の見方 ～写真を通して～

ビジターセンターの解説員として、大切な仕事のひとつは展示物やホームページに掲載する写真を撮ることである。とにかく多くの写真を「記録」として撮影すること、それが目的であった。しかし、ある時から撮影した写真が変わってきた。

きれいだな、面白いなと思ったらまずカメラを向けてみる。正面から、斜めから、下から上から、時には被写体にグッと近づいてみたり、逆光なんかお構いなしにシャッターをきってみたり。一つの被写体を色々な角度から見て写真を撮るようになった。そしてストーリーを頭の中に描きながら写真を撮るようになったことも、写真が変わるポイントになった。冬のロックガーデンでは沢の水が跳ね上がって凍り、その氷は色々な形で現れる。この氷を撮る時には「冬の静寂」、「モノクロの世界」といったことを頭に思い描きながら写真を撮っている。他には異なる視点を持つことも大切。紅葉シーズンには樹木を見上げながら写真を撮ることが多いが、地面に葉が落ちて紅葉の絨毯が一面に敷き詰められた情景もハッとさせられる。

このように写真は「記録」としての写真から、「伝える」ための写真に変わってきた。そして写真を撮っていて気づいたことが一つ。試行錯誤しながら写真を撮ることは、実は自然を色々な角度から見ることになる。写真は楽しみながら「自然の見方」を教えてください。一つの手段なのかもしれない。（解説員 宮田）



御岳ビジターセンター

〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5

開館（9:00～16:30）休館（月曜日 ※祝日の場合は翌日）

TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445

HP <http://mitakevc929.ec-net.jp/> 2017年12月1日 第8号

制作・発行

ヤマネにはじまり
タカチホヘビ、
イスカなど
今年は珍客に
沸いたよ！



御岳ビジターセンター公式キャラクター
ムサくん

御岳ビジターセンターが照らす...



備

もう間もなく初雪が降る

ツガの実にヒガラたちが集まってくる

「チチピ チィー チィー」

仲間がいることを確認しながら

食事をしているみたい

厳しい冬を生き抜くために



ぶら下がり食べ

12月6日
6時52分
in 長尾平



アオゲラ

木をススーっとのぼった次の瞬間
ぶら下がりコツコツ食べはじめた
キツキが実を食べていたことに衝撃！
その後も頻繁にあらわれ
足しげく通っていることが分かった

12月13日
11時55分
in 十字路



コゲラ

この日も店の奥へ！
華麗にぶら下がり
器用にお食事
こう見えて
じつは常連客

立ち食い 1人で黙々と

12月10日
11時57分
in ケーブル道



ハシボソガラス

てっぺんに陣取り
掟破りの貸切状態に…
大きな嘴で小さな実を
ちまちまと食べる姿は
なんだか微笑ましい

12月9日
15時00分
in 長尾平



ツグミ

この日はカラスザンショウ亭に…
またある日はヌルデ亭に…
はしごが大好き？

12月6日
7時10分
in 長尾平



ヤマガラ

「ニイニイ」と鳴きながら
ふらっと立ち寄るも
数粒食べるなり帰ってしまった
お口に合わなかった？
来店はこの日限りに…

落ちてる実を ごっつあんです

11月30日
8時30分
in ケーブル道

キジバト



地面からカサカサと音が
その音で来店に気づく
どうやら他の鳥がこぼした
実をひろって食べていたようだ
しっかり者！

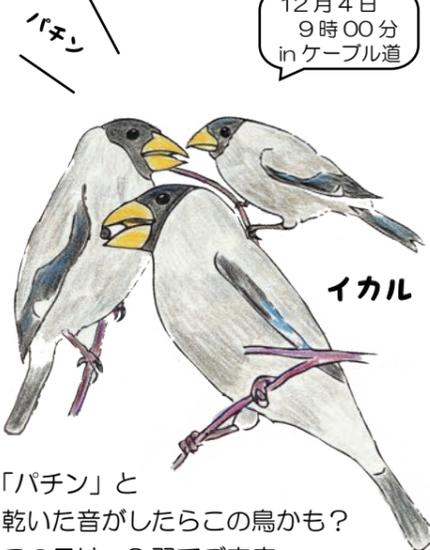
カラスザンショウ亭

繁盛店？

カラスザンショウの実はいくつもの鳥が集う人気の木、
図鑑にはこう書かれている。言うなれば、
鳥にとっての人気の食堂「カラスザンショウ亭」これってホント？
疑い深い解説員は、自分の目で確かめたくなった。
そこで今回、検証してみた！
題して「カラスザンショウの実、御岳山でも鳥に大人気?!」
繁盛店か…それとも…、結果はいかに??

立ち食い 仲間とワイワイ

12月4日
9時00分
in ケーブル道

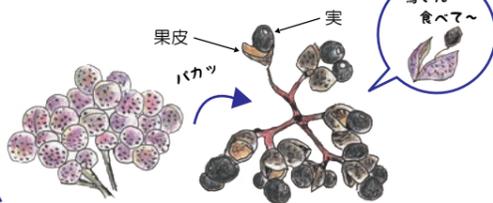


イカル

「パチン」と
乾いた音がしたらこの鳥かも？
この日は、8羽でご来店
立派な嘴で固い実を
パチンと割って食べていた
タネを割られてしまっちゃ
お店はありがた迷惑…

カラスザンショウの実

果皮が熟すとパカッと割れて
中から黒い実が。御岳山では11月頃熟す。
果皮と実は、糸のようなものでくっつき
落ちない仕組み。これは、鳥に食べて
もらうための作戦！スゴい～



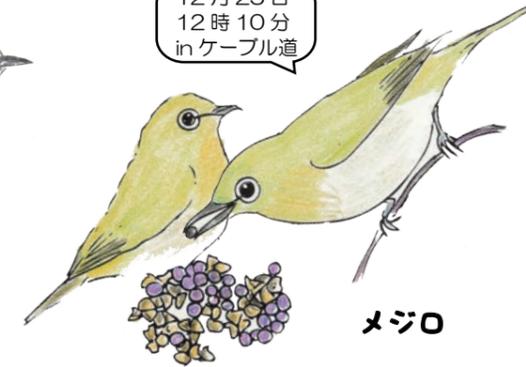
12月10日
11時12分
in ケーブル道



ヒヨドリ

この日も数羽で早めのランチ？
「ヒーヨ ヒーヨ」とっても賑やか
おまけに、我がもの顔で
他の鳥を追い払う始末…
一歩間違えれば出入り禁止？

12月25日
12時10分
in ケーブル道



メジロ

いつも数羽で仲良く来店
今日は仲間と？それとも夫婦で？
行けば必ずそこにいるくらい
超常連客

ホバリング食べ

12月18日
10時05分
in ケーブル道



ジョウビタキ

彼の食べ方は、かなり個性的
目の前の実を食べずホバリングして
少し先にある実を食べる
そして枝に戻ると少し得意げな表情
飛びながらの食事がお得意？

12月6日
7時00分
in 長尾平

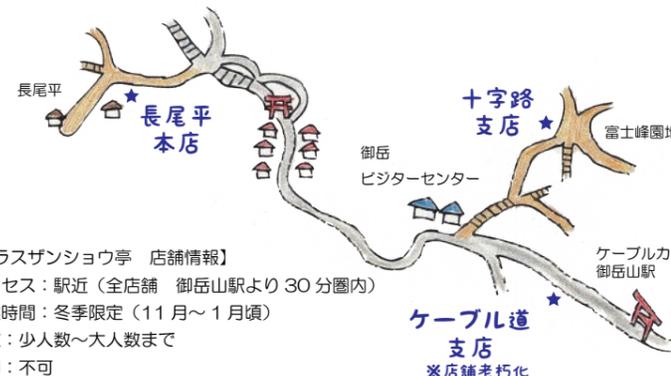


ルリビタキ

枝に止まった彼は
ホバリングして一瞬で実を食べた
それを数回繰り返して
サッと藪の奥へ消えていった
できる男は食事もスピーディー？

カラスザンショウ亭 店舗マップ

鳥に食べられたカラスザンショウの実はいくつもの鳥が集う人気の木、
遠くへと運ばれる。糞と共に排出された
タネは運が良ければ発芽する
こうして、そくそくチェーン展開中！



【カラスザンショウ亭 店舗情報】
アクセス：駅近（全店舗 御岳山駅より30分圏内）
営業時間：冬季限定（11月～1月頃）
席数：少人数～大人数まで
貸切：不可
注意：食材の実が無くなり次第閉店となります。
ご了承ください。

おまけ 試しにひとくち 食べてみた



解説員の口には合わなかった…
※あくまで個人の感想です。

検証結果 来客数 12種

カラスザンショウ亭には、冬に見られる鳥の
約3割が来店していた。小鳥からカラスまで
幅広い鳥の砂肝を…いや胃袋をがっちりとかむ
繁盛店だった。